

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第3区分
【発行日】平成17年11月10日(2005.11.10)

【公表番号】特表2001-519952(P2001-519952A)
【公表日】平成13年10月23日(2001.10.23)
【出願番号】特願平10-543643
【国際特許分類第7版】
G 0 6 F 17/30
【F I】
G 0 6 F 17/30 2 2 0 A
G 0 6 F 17/30 1 7 0 A

【手続補正書】
【提出日】平成17年2月24日(2005.2.24)
【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】補正の内容のとおり
【補正方法】変更
【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成 17 年 2 月 24 日

特許庁長官 殿

1 事件の表示 平成 10 年 特許願 第 5 4 3 6 4 3 号

2 補正をする者

名称 ブリティッシュ・テレコミュニケーションズ・パブリック・リミテッド・カンパニー

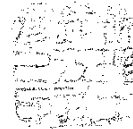
3 代理人

東京都千代田区霞が関 3 丁目 7 番 2 号

鈴 榮 特 許 綜 合 事 務 所 内

〒100-0013 電話 03 (3502) 3181 (大代表)

(5 8 4 7) 弁 理 士 鈴 江 武 彦



4 自発補正

5 補正により減少する請求項の数 5

6 補正の対象

請求の範囲

7 補正の内容

請求の範囲を別紙の通り訂正する。



請 求 の 範 囲

1. データの組を要約する装置であって、該装置は、
要約すべきデータの組を受領する入力と、
前記受領したデータの組を、予め決められた基準にしたがって、複数のセクションに分けるセクショニング手段と、
前記セクション毎にセクション内のデータと1以上の目標データ項目とを比較し、該セクションに対して格付け値を計算するよう動作する格付け手段であって、前記格付け値は該セクションに対する前記比較の結果に依存するものと、
それぞれの格付け値にしたがって、前記1以上のセクションの中から1または複数のセクションを選択することによってデータの組のカスタマイズされた要約をコンパイルするコンパイル手段と、を含む。
2. 請求項1に記載の装置は、目標データ項目を入力するユーザ入力を含む。
3. 請求項1に記載の装置は、さらに、
予め決められたストップリストにしたがって、前記各セクション内の1以上のキーデータ項目を識別する手段と、
前記各セクション毎に1以上の分配値を計算するよう動作する計算手段であって、前記各分配値は、前記データの組内で、前記セクション内で識別されたキーデータ項目の分配の異なる予め決められた基準を表すものと、
それぞれの前記1以上の分配値にしたがって、前記セクション毎に前記格付け値を調整する調整手段と、を含む。
4. 請求項3に記載の装置において、
前記計算手段は前記各セクション毎に第1の分配値を計算するよう動作し、
前記第1の分配値は、該セクション以外で、該セクションのキーデータ項目を含むデータ組のセクションの数の基準を表し、
前記第1の分配値は、該セクションに対して計算されたように、該セクションのキーデータ項目毎に決められたセクションの数の該基準の値の合計に比例する。
5. 請求項4に記載の装置において、
前記計算手段は前記セクション毎に第2の分配値を計算するよう動作し、
前記第2の分配値は、該セクションのキーデータ項目毎のデータの組内の第1

の出現とそれぞれの最後の出現との間の境界の基準を示し、

前記第2の分配値は、該セクションに対して計算されたように、該セクションのキーデータ項目毎に決められた境界の該基準の値の合計に比例する。

6. 請求項5に記載の装置において、

前記選択手段は、予め決められた長さを有する要約をコンパイルするように構成されており、該コンパイルは、格付けが下がる順で、対応する格付け値によって決定されるように、最も高い格付けのセクションから始めて、1以上のセクションの中の1又は複数のセクションを選択し、かつ該要約が前記予め決められた長さに達するまで、各選択されたセクションを該要約に加えることによってなされる。

7. 請求項3に記載の装置において、

前記計算手段は前記セクション毎に第2の分配値を計算するよう動作し、

前記第2の分配値は、該セクションのキーデータ項目毎のデータの組内の第1の出現とそれぞれの最後の出現との間の境界の基準を示し、

前記第2の分配値は、該セクションに対して計算されたように、該セクションのキーデータ項目毎に決められた境界の該基準の値の合計に比例する。

8. 請求項1に記載の装置において、

前記選択手段は、予め決められた長さを有する要約をコンパイルするように構成されており、該コンパイルは、格付けが下がる順で、対応する格付け値によって決定されるように、最も高い格付けのセクションから始めて、1以上のセクションの中の1又は複数のセクションを選択し、かつ該要約が前記予め決められた長さに達するまで、各選択されたセクションを該要約に加えることによってなされる。

9. データの組のカスタマイズされた要約を生成する方法であって、該方法は、

1) 要約すべきデータの組を、入力として受領することと、

2) 前記データの組を、予め決められた基準にしたがって、セクションに分けることと、

3) 前記各セクション内のデータ項目を1以上の目標データ項目に対して比較することと、

4) 該セクション毎に格付け値をそれぞれの前記比較の結果に依存して計算することと、

5) それぞれの格付け値にしたがって、前記1以上のセクションの中から1または複数のセクションを選択することによってデータの組のカスタマイズされた要約をコンパイルすることと、を含む。

10. 請求項9に記載された方法は、さらに、

a) 予め決められたストップリストにしたがって、前記各セクション内のキーデータ項目を前記ステップ2) から識別することと、

b) 前記セクション毎に、1以上の分配値を計算することであって、前記各分配値は前記データの組内で前記セクションのキーデータ項目の分配の予め決められた基準を表すものと、

c) それぞれの前記1以上の分配値に依存して、前記セクション毎に前記ステップ4) から前記格付け値を調整することと、を含む

11. 請求項10に記載された方法において、

前記ステップb)において、分配の前記1以上の予め決められた基準は、前記セクション以外で、該セクションのキーデータ項目を含む、前記データの組のセクションの数の基準を含み、また、

対応する分配値は、該セクションに対して計算されたように、該セクションのキーデータ項目毎に決められたセクションの数の該基準の値の合計に比例する。

12. 請求項11に記載の方法において、

前記ステップb)において、分配の前記1以上の予め決められた基準は、該セクションのキーデータ項目毎の該データの組内の第1の出現とそれぞれの最後の出現との間の境界の基準を含み、また、

対応する分配値は、該セクションに対して計算されたように、該セクションのキーデータ項目毎に決められた境界の該基準の値の合計に比例する。

13. 請求項8に記載の方法において、

前記ステップb)において、分配の前記1以上の予め決められた基準は、該セクションのキーデータ項目毎の該データの組内の第1の出現とそれぞれの最後の出現との間の境界の基準を含み、また、

対応する分配値は、該セクションに対して計算されたように、該セクションのキーデータ項目毎に決められた境界の該基準の値の合計に比例する。